

A Gathering in a better worldは、障がいのあるアーティスト同士の出会いやネットワーキング、クリエイティブ空間の構築を目的として、ゲーテ・インスティトゥートとドイツの国際演劇フェスティバル、Festival Theaterformenが共同で立ち上げました。今年7月のブラウンシュヴァイクを皮切りに、京都、モンテヴィデオ、ヨハネスブルク、上海で各都市それぞれのギャザリングを展開します。

京都のギャザリングは、盲・ろう者含む身体に障がいのあるアーティストによるミックスエイブルカンパニー、Mi-Mi-Biをプログラムディレクターに迎え、KYOTO EXPERIMENTの提携プログラムとして実施します。ディスカッション、ワークショップ、オープンスタジオ、インスタレーションなどすべての企画とその空間、時間、ゲスト、交流の形をアーティスト自らが決定し、実行します。

期間中には、非公開のプログラムとして、障がいのあるアーティスト同士の交換・交流の場（ギャザリング）も設けて、みんなにとってより良い社会について考えます。

木田 かずよ
Kazuyo Morita

トークセッション 国内ゲスト版 ★
@大ホール&ZOOMウェビナー

10月13日 (木) 18:00 - 20:00

ゲスト: 大橋弘枝 (俳優、演出家、プロデューサー)
石田智哉 (映画監督、
現代心理学研究科映像身体学専攻修士課程 卒)

手話通訳つき
※会場での視聴を希望される方はなるべく事前にお申込みください



福角 宣弘
Nobuniro Fukusumi

トークセッション 海外ゲスト版
@ZOOMウェビナー

10月14日 (金) 18:00 - 20:00

日独逐次通訳 & 手話通訳つき
※ゲストの詳細は公式インスタ、
及びWebサイトをご確認ください

ダンサー・俳優。「二分脊椎症・側湾症」を持って生まれ、18歳より表現の世界へ。「Performance For All People.CONVEY」主宰。国内外の多数の公演に出演し、TVなどメディア出演も多数。東京2020パラリンピック開会式出演。神戸大学人間発達環境学研究科修士学位取得。



KAZUKI ナイト & サイレントバー ★
@中庭・大ホール (天候により変更)

10月15日 (土) 18:00 - 19:00 ※ドリンクは有料

サインフォーマーのKAZUKIによるパフォーマンスと、発声なしでKAZUKIが作るドリンクと共に楽しむサイレントバー。

手話通訳つき

KAZUKI

サイレントディスコ ★

10月15日 (土) 19:00 - 20:30 ※ドリンクは有料

KAZUKIのパフォーマンス後は、ワイヤレスヘッドフォンで生のDJ演奏によるサイレントディスコをお楽しみください。

手話通訳つき
定員 50名

生まれつきろう者ソロサインフォーマー。代名詞は「手の表現者」。手話と音楽を融合させ、表情、背景、物語を含めた「手の表現」を使って、目で聴く世界観を届ける。2017年、プロサインフォーマーとして本格始動。ろう者も聴者も誰もが音楽の世界観を感じることができると手話歌を目指している。俳優、モデル、作家(手話歌製作)としても活動している。

KAZUKI

福角 宣弘
Nobuniro Fukusumi

ぼくもスケボーに乗れるのか? ドキュメント映像展示
@1F ホワイエ

10月13日 (木) - 16日 (日)

「車椅子でスケボーに乗ってみたい」という希望を実現させるまでの過程を映像で記録し、館内のモニターで展示。うまくいけば、会場内で時々練習をしているかも。。(未知数)

『骨形成不全症』病を持ち、車イス生活を続けるなか、車イススポーツ等で自分を楽しく表現。2007年よりDANCE BOXの「循環プロジェクト」「Tikwa+Junkan Projekt」に参加し、国内外の公演に出演。ダンスチームtea、じゆう劇場 (2016~2019年) 他でも表現活動を続けている。

福角 幸子
Sachiko Fukusumi



福角 幸子
Sachiko Fukusumi

私の語りの世界
@図書室、その他

会期中、時々。

絵本を出版したり、普段から読み聞かせをしている幸子が、会期中どこかで自作の絵本を読んだり、お話をします。

神戸市に生まれる。脳性麻痺。語り部として各地で公演するほか、絵本「めざしのジョニー」学習研究社より出版。舞台の活動は、エイブルアート・オンステージ日英共同企画飛び石プロジェクト公演「血の婚礼」、DANCE BOX「循環プロジェクト」「Tikwa+Junkan projekt」、じゆう劇場、トリコAの公演等に出演。

人との出会いの中で「幸子WORLD」を築きたい。

Sachiko Fukusumi



武内 美津子
Mitsuko Takenouchi

美津子の部屋へようこそ
@ガラスのアトリエ

10月13日 (木) 11:00 - 15:00
10月14日 (金) 11:00 - 15:00
10月15日 (土) 11:00 - 14:45 *手話通訳つき
10月16日 (日) 13:15 - 14:45

盲パフォーマンスの武内美津子の日常、創作場面を公開するオープンスタジオです。美津子と語りに来てください。

※ 時折、不在にしている時間もあります。

2004年、51歳で突然病に倒れ生死の境を彷徨うも、薄皮を剥くように数年かけて回復。病気の影響で徐々に視力を失い、重度の視覚障害、下肢の麻痺を抱える。2014年より表現活動をはじめ、舞台活動は、一人芝居のほか、劇団活動にも参加し国内ツアー公演や海外公演にも出演。東京2020パラリンピック開会式出演。詩や、書、絵画の創作も行う。



Mi-Mi-Bi ワークショップ ★
@大ホール

10月15日 (土) 15:00 - 17:00
10月16日 (日) 11:00 - 13:00

Mi-Mi-Biメンバーが勢揃いして、身体を使ったワークショップをします。動きやすい服装、水分補給のための飲み物を持参ください。

手話通訳つき、定員15名程度

★マークのプログラムは予約優先です。事前申し込みなしでもご参加いただけますが、定員に達した場合は、見学になる可能性があります。予約フォーム <https://forms.gle/gHqFJmt7DuuHJv4i9> 予約フォーム

申込み・問い合わせ
ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都 文化部 (西村)
miyuki.nishimura@goethe.de 075-741-2188
NPO法人ダンスボックス
kyosei.db@gmail.com 078-646-7044

